

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、村民の皆様のご理解とご協力のお陰をもちまして、村政全般にわたりそれぞれの事業を順調に進めることができ、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、西日本各地の豪雨災害、北海道胆振東部地震など、まさに災害の一年でありました。被災された皆様には、お正月なのに今なお不自由な暮らしをされていることと心が痛みます。心からお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を願っております。幸い本村においては大きな災害にはなりませんでしたが、9月の台風21号では強風による倒木が多く、村内各所で停電が発生し、順次復旧するも最後の久須見地区が復旧したのは停電から4日目でした。情報の伝達、簡易水道施設の災害時での対応、携帯電話の電源確保など多くの課題を経験いたしました。この経験を活かし、県と協力して中小河川の氾濫対策としてのタイムラインやハザードマップの見直しを実施し、より一層災害に強い村を目指さなければなりません。災害の後の反省の中で、地域の自主防災会に協力を求めてもよいのではないかとのご意見もいただきましたので、今後、話し合いを進めていこうと考えております。

さて、今年には元号が変わるとともに、明治22年に東白川村が誕生してから130周年の節目の年であります。11月24日に記念式典や祝賀行事を計画しています。一年を通じて、先人の努力に感謝し、村の歴史や文化をしっかりと心に留めながら、立村130年の意義を共有していく一年間にしていきたいと思います。

次に、今年計画している主な事業についてですが、現在建設中の診療所と老人保健施設を完成させ、11月中旬をめぐりに新しい施設での診療や老健事業を始める計画しております。建物が新しくなり、医療や福祉介護サービスが地域の皆様にとって、更に安心してご利用いただける施設となるよう職員と共に努力してまいります。

完成後には内覧会も計画しますのでご期待ください。

また、全村を光ファイバーでつなぐ超高速ブロードバンド化事業を実施します。CATV施設は今やテレビ、インターネット、地域のコミュニティの醸成、災害時の広報、行事案内など行政情報の伝達に欠かせないものであります。将来のテレワークやサテライトオフィスなどの事業展開もできるように「公設公営」で東白川村の新たな資産となるようにしっかりと計画を進めてまいります。

更に、農業振興では白川茶の産地として、お茶農家の皆様、東白川製茶組合と五加茶生産組合、茶商の皆様の生き残りを懸けた「白川茶の流通改革」を行なうことが重要と考えており、協議を進めてまいります。

林業、商工業振興策についても、フォレストスタイル事業、木材関連産業の後継者対策事業、好評のつちのこメンバーズカード事業などを継続して、地域の経済を元気にしてまいります。

学校教育の面では、最近の高気温に対する環境対策として、小学校、中学校の普通教室にエアコンを設置いたします。既に国の助成を受け、補正にて予算確保しましたので、今年の夏をめぐりに設置する予定です。

人口減少と少子高齢化の波が押し寄せてくる現実に立ち向かい、第5次総合計画の目標である「**人が輝く 地域力のある村 東白川村**」の実現を目指して、気持ちも新たに職員と共に汗をかいてまいりたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとって素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

2019年1月1日

東白川村長 今井俊郎